

システムアーキテクト 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (7 点)

マイナンバー提供依頼書類の作成時にマイナンバー登録済の顧客を除くため

設問 2 (6 点)

訂正支払調書を作成し税務署に再提出する。

設問 3 (18 点: (1)6 点, (2)6 点×2)

(1) 契約者マイナンバーまたは受取人マイナンバーが未登録で督促履歴がない。

(2) (更新ステータスの値) 不備対応中

(理由) マイナンバーの申告は既になされているため

設問 4 (19 点: (1)6 点×2, (2)7 点)

(1) (機能) 支払調書提出機能

(理由) マイナンバーを削除する条件は最後の支払証明書提出の 7 年後だから

(2) マイナンバー変更時に再度登録可能とするため

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (16 点: (1)6 点, (2)5 点×2)

(1) 工場全体の稼働率の状況

(別解) 工場の設備機械, 作業者などの生産能力

(2) ① 販売計画情報

② 製品在庫状況情報

設問 2 (12 点: (1)6 点, (2)6 点)

(1) 加工オーダーの作業工程ごとの着手予定日, 完了予定日

(2) 作業対応可能な設備機械

設問 3 (10 点: 5 点×2)

① 加工対象品の単位当たりの標準作業時間

② 加工オーダー

設問 4 (12 点: 6 点×2)

(生産技術部門) 製造基準の見直しや製造方法の改善

(経理部門) 作業時間実績から加工費計算を行う。

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (13 点:(1)6 点, (2)7 点)

- (1) 標準機能を活用し標準保守を行うことでシステム維持費用を削減するため
- (2) 7, 8, 11

設問 2 (13 点:(1)7 点, (2)6 点)

- (1) 毎月の出勤簿の記録をシステム入力し確定させる作業
- (2) 朝の出勤時刻にシステムへのアクセスが集中するから

設問 3 (24 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)6 点×2)

- (1) 標準機能に業務を合わせることが可能でシステム維持費用の削減に貢献できるから
- (2) 寒冷地手当の追給・返納を行わない。
- (3) (状況) 支給対象期間中に世帯区分の変更や支給対象地域をまたぐ異動などが生じた場合
(機能) 寒冷地手当を月割り計算する機能

問 4 (配点 50 点)

設問 1 (13 点:(1)4 点×2, (2)5 点)

- (1) ① センサによる測定機能
② 無線 LAN によるデータ通信機能
- (2) 時系列の発電量データから異常値を検出する。

設問 2 (25 点:(1)5 点×2, (2)5 点×2, (3)5 点)

- (1) (a) サーバからのデータが途切れた場合, 稼働を停止する。
(b) 最新データを取得し送信すべきデータを確認する。
- (2) (a) モニタリングポストの位置情報
(b) 通信のタイムラグによる位置情報の誤差
- (3) 前方の農業機械との間の障害物を検出できる。

設問 3 (8 点: 4 点×2)

- (データ) 農業機械の動作履歴
- (機能) 保守すべき部品の特定

設問 4 (4 点)

- サービス中断により稼働できない。

以上